

一二 シベリア及東支兩鐵道管理ニ関スル交渉一件 三四一

四四二

力セントスルハ諒トスヘキ理由アリ就テハ英國提議ノ委員会ノ成否ニ拘ラス先ツ「チタ」ニ於テ日本側ト露國鐵道側トノ間ニ列車配給其他輸送ニ関スル指導ヲ為スノ必要ヲ感セリ仍テ貴官ハ「ズラボフ」ト協商シテ一委員会ヲ組織シ恰モ浦潮ニ於ケル委員会ノ如ク定期会合シ指導ヲ与ヘラレ

タシ若シ之カ為「セメヨーノフ」ノ行動ヲ制圧スルノ必要ヲ生セル場合ニハ第三師團長ノ援助ヲ要求セラルヘシ第三師團長ニハ當方ヨリ此事ニ關シ訓令シ置ケリ尚列車配給其他ニ關シテハ公明ノ処置ヲ執ラルヲ要ス

## 事項一三 國際常設經濟委員会一件

三四三 一月三十一日

在仏國松井大使（ヨリ  
本野外務大臣宛）

### 國際常設經濟委員会第二十八回會議報告送附

ノ件

附屬書 右報告

（三月二十八日接受）

大正七年一月三十日

在仏特命全權大使 松井慶四郎（印）

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

本月十二日開催ノ國際常設經濟委員会第二十八回會議報告別紙ノ通リ長岡委員ヨリ提出致候ニ付及転達候条御查閱相成度此段得貴意候 敬具

（附屬書）

國際常設經濟委員会第二十八回會議報告

一、委員会ノ諸決議ニ對シ聯合各國政府ノ執リタル措

置一覽表ニ關スル件

二三 國際常設經濟委員会一件 三四三

右一覽表（別紙第一号及第二号）ハ第二十七回會議ノ際白國委員ノ為シタル提議ニ基キ書記局ニ於テ作成シタルモノニシテ第一号ハ千九百十六年六月乃至十二月第二号ハ千九百十七年一月乃至六月中ノ諸決議ニ關スルモノナリ而シテ千九百十七年七月以後ノ決議ニ付テハ之ニ對スル各國政府ノ決定ヲ知ルニ未タ充分ノ時日ヲ経過セサルニ付当分一覽表ヲ作成セサル趣ナリ

二、伊國黒表ニ關スル件

伊國委員ヨリ同國黒表ヲ經濟委員会書記局ニ送附セル処（第三号）該表中ニ葡國及其殖民地ニアル商人及會社名掲記セラレ在ル為葡國委員ハ曩ニ英仏両國ノ黒表ニ對シテ為シタルト同一ノ抗議ヲ提出シ右ニシテ削除セラレサル限り葡國ハ黒表統一ノ提議ニ贊同スルコト能ハサルコトヲ開陳シタリ（第四号参照）

三、敵国人ノ著作権ニ關スル件

委員会書記局ハ別紙第五号ノ通り敵国人ノ著作権ニ關スル

一三 國際常設經濟委員会一件 三四四

四四五

仏、英、伊、米、独ノ制度ヲ詳記シタル後當該官憲ノ指定シタル管理人ヲシテ戰爭中敵国人ノ著作權ヲ行使セシムル制度ヲ聯合各國ニ普及セシメントノ目的ニテ決議案ヲ提出シ委員会ハ多少ノ修正ヲ加ヘテ之ヲ可決セリ（第六号）

四、柳、酸化鉛、鉛丹ノ輸出禁止等ニ関スル件  
柳、酸化鉛、鉛丹ノ輸出ヲ禁止シ之ヲ戰時品目中ニ加ヘ隣敵中立國ヘノ輸入量ヲ定限セントノ提議書記局ヨリ提出セラレ（第七号、第八号）可決セラル（第九号、第十号）

五、利息等ノ支払ニ関スル短期時効ノ中断ニ関スル件

本件ハ白國委員ノ発議ニ係リ書記局之ヲ提出セルモノニシテ（第十一号）利息、年金、株主配当金及利札ノ仕払ニ関スル短期時効ヲ單ニ戰爭ノ事由ニ依リテ中斷セシムルノ法制ヲ聯合各國ニ普及セシメントスルニアリ異議ナク通過ス（第十二号）

註 別紙省略

三四四 三月十一日 在仏國松井大使ヨリ

國際常設經濟委員会第二十九回會議報告送附  
ノ件

機密公第三号  
シタル管外大臣宛  
シタル管理人ヲシテ戰爭中敵国人ノ著作權ヲ行使セシムル制度ヲ聯合各國ニ普及セシメントノ目的ニテ決議案ヲ提出セラレ（第七号、第八号）可決セラル（第九号、第十号）

在仏特命全權大使 松井慶四郎（印）  
附屬書 右報告  
(四月二十四日接受)

大正七年三月十一日

外務大臣子爵 本野一郎殿  
在仏特命全權大使 松井慶四郎（印）

四四五

機密公第三号  
客月二日開催ノ國際常設經濟委員会第二十九回會議報告別紙ノ通長岡委員ヨリ提出致候ニ付及転送候間御查閱相成度此段得貴意候 敬具

（附屬書）

國際常設經濟委員会第二十九回會議報告

一、在中立國敵國商社表作成ニ關スル件  
委員会書記局ハ別紙第一号ノ通敵商業ノ取引ヲ監視シ敵商社ノ仮装ヲ摘発シ其商業ヲ妨阻スル為敵資本五割以上投資シアルカ又ハ敵国人ヲ支配人又ハ代理人トスル在中立國商社表ヲ作成センコトヲ提議セル处在來ノ黒表ト独立セル本表制定ノ實際上ノ必要及便否ニ關シ英國委員ノ為セル質疑ニ対シ具体的な答解ヲ為スコト困難ナリシ為本案ノ發意ヲ為セル仏國黒表各省聯合委員会ニ諮詢ノ上回答スルコトシ討議ヲ延期セリ（別紙第一号會議錄参照）

二、酸化錫、茴香、水晶石、釤等ノ輸出禁止其他ニ關スル件

前記諸物件ノ輸出ヲ禁止シ之ヲ戰時品目中ニ加ヘ隣敵中立國ヘノ輸入量ヲ定限セントノ提議書記局ヨリ提出セラレ（別紙第三号、第四号、第五号、第六号）可決セラル（第七号、第八号、第九号、第十号）

尚当日ノ會議ニ於テ書記官長ハ本員ノ送附ニ係ル帝國黒表追加表等ノ外英國委員ノ提出セル王國々防条例ヲ紹介シ（別紙第二号會議錄参照）又葡國委員ノ送附セル同國黒表制定ノ説明書（別紙第十一号）ヲ朗讀セリ

註 附屬書類省略

三四五 三月十九日 在仏國松井大使ヨリ  
本野外務大臣宛

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿  
客月二十三日開催ノ國際常設經濟委員会第三十回會議報告別紙ノ通り長岡委員ヨリ提出致候ニ付及転送候條御查閱相成度此段得貴意候 敬具  
(附屬書)

國際常設經濟委員会第三十回會議報告

一、伯刺西爾國委員參加之件  
伯刺西爾國ヨリモ本委員会ニ委員ヲ参列スルコトナリ今回ノ會議ヨリ在仏駐劄同國公使 Olyntho de Magalhaes出席セリ

二、水化石灰、セメント、鐵格子ノ輸出禁止等ニ關スル件

前記諸物件ノ輸出ヲ禁止シ之ヲ戰時禁制品目中ニ加ヘ隣敵中立國ヘノ輸入量ヲ定限セントノ提議書記局ヨリ提出セラレ（別紙第一号及第二号）可決セラル（第三号第四号）

三、聯合國間ニ於ケル戰後ノ經濟的協調ニ關スル件

書記局ハ本件ニ關シ別紙第五号ノ如キ意見書ヲ提出シ本件諸問題立案ノ為一分科会ヲ設ケンコトヲ提議セルカ本件ハ客年六月開催ノ巴里經濟會議ニテ討議セラレタル事項ニ係

通機密公第四号

件 大正七年三月十九日

（五月三日接受）

註 附屬書 右報告

一三 國際常設經濟委員会一件 三四五

四五五

一三 國際常設經濟委員会一件 三四六

四四六

リ而シテ國際常設經濟委員会ノ関涉スヘキ諸問題ノ範囲ハ

同年三月巴里會議ノ決議中ニ明確ニ限定セラレ居ルニ付本

委員ハ當委員会カ本件ヲ審議スルノ權限アルヤ否ニ関シ質

疑ヲ提出セル處議長ハ之ニ對シ縷々意見ヲ開陳セルモ其以

テ權限アリトナス理由中殆ト首肯スルニ足ルモノナク論議

ノ余地充分存在スト雖モ當委員会ノ純諭究範囲ニ属スル諸

問題ハ已ニ殆ト其審議ヲ終ルニ付本件ノ如キ広汎ナル問題

ニ其討議ヲ進メサルニ於テハ會議ノ価値余リニ微少トナル

ノミナラス幸ニ右討議ノ際戰後ノ經濟政策ニ關スル仏國主

轡ノ一般ヲ知ルコトヲ得ハ却テ好都合ナルヘク殊ニ委員会

ノ決議ハ毫モ委員所屬国ヲ拘束スヘキ性質ヲ有セサルニ付

各委員ハ敢テ書記局ノ提案ニ不同意ヲ表明セス本員亦強テ

前記質疑ヲ固執スルノ必要ヲ認メサリシヲ以テ其儘ニ議事

ヲ進メ書記局ニ於テ諸議題ヲ作成スルコトニ議纏マレリ

(別紙第六号會議錄参照)

註 別紙省略

三四六 三月三十一日 在仏國松井大臣使ヨリ  
在野外務大臣宛

前記寶石ハ硬金屬ノ研磨、施条等ニ供用セラルニ付本物  
長ハ本會會議ニ於テ之ヲ朗誦シ諸員ニ告知セリ

二、未加工寶石及人造寶石ノ輸出禁止等ニ關スル件

件ニ關スル戰時禁制品目ヲ修正完備セシメ輸出禁制品目中ニ之ヲ明記シ隣敵中立國ニ對スル輸入額ヲ限定セントスルノ提議書記局ヨリ提出セラレ(別紙第一号)可決セラル

(別紙第三号)

三、金剛石及真珠ノ取引ヲ監視ニ附シ其輸出業者ニ保証

金ヲ課スル件

本件ニ關シ別紙第四号ノ通り書記局ヨリ提案アリタル處其

提案理由ニ付白國委員ヨリ質問アリ再調査ノ上更ニ審議ス

ルニ決シ議事ヲ延期ス

四、聯合國間ニ於ケル經濟的協調ニ關スル件

本件ニ關スル書記局提議ノ次第ハ前回會議報告ノ通ナル処

書記局ハ別紙第五号ノ如キ詳細ナル議題案ヲ作成シテ之ヲ

本回會議ノ審査ニ附シ會議ハ審査ニ對スル措置ニ就キ一応

意見ノ交換ヲ為セルモ結局差当リ問題ヲ局限シ戰爭前敵國

ト締結シタル契約ノ解除並連合國及中立國間ニ取引セラル

ル貨物ノ輸出入者ノ真正ノ国籍ヲ保証スルニ必要ナル措置ニ關シテ研究スルニ決シ書記局ヨリ追テ之カ討議案ヲ配布スルコトトナレリ(別紙第一号會議錄参照)。

註 別紙省略

國際常設經濟委員会第三十一回會議報告送附

ノ件

(八月三十日接受)  
通機第六号

外務大臣子爵法学博士 本野一郎殿

本月二十三日開催ノ國際常設經濟委員会第三十一回會議報告別紙ノ通り長岡委員ヨリ提出致候ニ付及転達候條御查閱相成度此段得貴意候 敬具

在仏特命全權大使 松井慶四郎(印)

外務大臣男爵 後藤新平殿

本月十三日開催ノ國際常設經濟委員会第三十二回會議報告

別紙ノ通り長岡委員ヨリ提出致候ニ付及転達候條御查閱相成度此段得貴意候 敬具

(附屬書)

國際常設經濟委員会第三十二回會議報告

一、羅國委員辭任之件

本月一号會議報告中掲載之書面ヲ四月十日委員會議長ニ送

別紙第一号會議錄中掲載之書面ヲ四月十日委員會議長ニ送

リ公使館附商務官ヲ辭任セルニ付テハ本委員会ニ参列スル

ノ資格ナキニ至リタル旨ヲ通報セリ尚露國委員ハ二月二十

### 一三 國際常設經濟委員会一件 三四八

四四八

三日第三十回會議以来出席セス

一、本邦ニ於ケル胡椒ノ輸出禁止ニ閔スル件

委員会書記長ヨリ胡椒ノ輸出ニ閔シ本邦ニ於ケル取扱振書面ニテ聞合セ来リタルニ付本邦ニ於ケル胡椒ノ需要輕微ニ

シテ其產額多カラス輸出入共僅少ナルニ付之カ輸出ニ閔シ未タ制限ノ設ケナキモ蕃椒ニ就テハ歐洲中立國ニ輸出セラル場合ニハ予メ許可ヲ経ルヲ要スルコトトナリ居ル旨別紙第一号會議錄中掲載ノ如キ回答ヲ為シ置ケリ

三、同種類物件別ニ依ル戰時禁制品目表作成ニ閔スル件

英伊両國ノ戰時禁制品目表ハ「アルファベット」順ニテ物件列記セラルル處物件名ハ國語ニ依リ異同アルニ付索引上実際ニ不便多キヲ以テ從前ノ如ク之ヲ同種類物件別ノ品目表ニ改メンコトヲ書記局ヨリ提議セルニ（別紙第二号）「アルファベット」順ニ依ル品目表ヲ全然廢止スルノ便否ニ閔シ意見交換之末「アルファベット」順品目表採用國ヲシテ同時ニ同種類物件品目表ヲ作成セシメントノ提議ニ改メ之ヲ可決セリ（別紙第三号）

四、枸橼酸等ノ輸出禁止其ノ他ニ閔スル件

英伊両國ノ戰時禁制品目表ハ「アルファベット」順ニテ物

件列記セラルル處物件名ハ國語ニ依リ異同アルニ付索引上実際ニ不便多キヲ以テ從前ノ如ク之ヲ同種類物件別ノ品目表ニ改メンコトヲ書記局ヨリ提議セルニ（別紙第二号）

「アルファベット」順ニ依ル品目表ヲ全然廢止スルノ便否ニ閔シ意見交換之末「アルファベット」順品目表採用國ヲ

シテ同時ニ同種類物件品目表ヲ作成セシメントノ提議ニ改

メ之ヲ可決セリ（別紙第三号）

四、枸橼酸等ノ輸出禁止其ノ他ニ閔スル件

枸橼酸等ノ輸出ヲ禁止シ之ヲ戰時禁制品中ニ加ヘ隣敵中立國ニ対スル其輸出量ヲ制限セントスルノ提案書記局ヨリ提出セラレ可決セラル（別紙第四号第五号）

五、敵國臣民ト締結シタル契約ノ解除ニ閔スル件

敵國臣民トノ間ニ締結セラレタル契約ニシテ國家的利益ヲ害フヘキモノハ無条件ニテ之ヲ解除シ得ルノ制度ヲ設ケン

トル巴里經濟會議ノ決議ニ基キ仏國等ニ於ケルカ如ク戰爭前敵国人ト締結シタル契約ヲ解除スルノ制度ヲ聯合諸國間ニ普及セシメントスルノ提議書記局ヨリ提出セラレタル

処（別紙第六号）仏國ノ法制ハ單ニ解除ノ申請ヲ裁判所ニ為シ得ルニ留マルニ付斯クテハ手続非常煩瑣ナルヲ以テ法規上當然解除セラレタルモノト看做スノ制度ヲ設ケルヲ可

トストノ意見白國委員ヨリ出タルカスノ如ク単純ニ画一的ニ各種契約ノ運命ヲ定ムルコト不可能ナリトノ伊國委員ノ

注意アリ會議ハ原案ヲ変更シ解除ニ閔スル法制ヲ聯合國間ニ協定スルノ利益ヲ指摘スルニ止メ之ヲ可決シタリ（別紙第七号）

註 別紙省略

二、虚偽的生產地表記防止手段ニ閔スル件

本件ニ閔シ書記局ハ過般別紙第二号ノ意見ヲ提出セルカ他ノ議事多カリシ為其審議延引シ今回漸ク附議セラレタリ然

ルニ本件ノ研究ハ巴里聯合國經濟會議ノ決議丙第三中ニ予見セラレ居ルニ付本委員會ノ関涉事項ニ非サルコト明白ナ

ル様思考セラルルモ第三十回會議報告中記載セル通出案者及他委員ノ本問題ニ対スル意図ハ殆ト明白ナルノミナラス

本員ヨリ既ニ該會議ニ權限問題ヲ提起セルニ付今回更ニ同

様ノ形式ニテ説明ヲ求ムルハ時宜ニ適セスト思考シ大正五

年末開催ノ工業所有權及著作權ニ閔スル専門委員會ノ議題

中ニ本問題加ハリ居ルヲ引証シテ間接ニ本委員會ノ管渉事項ニ非サルコトヲ了解セシメント試ミタルモ書記局員専門

委員會ノ経過ヲ報告シタルノミニテ委員間ニ毫モ反響ヲ与

ヘザリシニ付（別紙第三号會議錄参照）本委員會決議ノ性質ニ鑑ミ深ク論争スルヲ避ケ會議ハ書記局提出ノ決議案ヲ可決シタリ（別紙第四号）

三、原料及食料ニ閔スル戰後措置ニ閔スル件

現戰役中敵國ニ対シテ實施シ居ル經濟的封鎖ノ制度ヲ準則

トシ原料及食料ニ閔シテ戰後聯合國間ニ設クヘキ制度ニ付

書記局ニ通知シ書記局ハ之ヲ各委員ニ配布セリ（別紙第一号）

一三 國際常設經濟委員会一件 三四九

四五〇

書記局ヨリ提案アリタル処（別紙第五号）本件ハ原料ノ最  
大產出国タル米國ヨリ委員ノ参列スルヲ待チテ審議スルコ  
ト妥当ナリトノ議長ノ注意ニ從ヒ討議延期セラル

四、商事会社ノ国籍決定基準ニ関スル件

本件ニ関シ別紙第六号ノ通り書記局ヨリ提案アリタル処決  
及重役ノ国籍ニ重キヲ置カントスルコトヲ具体的ニ記載シ  
アリタル為メ此新要件ノ可否ニ関シテ議論起リ結局専門委  
員会ニ於テ該基準ニ関スル諸問題ヲ慎重講究ノ上更ニ之ヲ  
本委員会ニ附議スルニ決シ決議案ヲ右ノ趣旨ニ修正ノ上可  
決セリ（別紙第七号）

註 別紙省略

三四九 七月一日 在仏国松井大使（ヨリ）  
後藤外務大臣宛

國際常設經濟委員会第三十四回會議報告送附

ノ件

附屬書 右報告

（八月二十六日接受）

通機公第一九号

大正七年七月一日

二特別課税ヲ為ス等本問題審議ノ為専門委員会ヲ開催セン  
トルノ提議（別紙第七号）書記局ヨリ提出セラレタル処

研究ヲ要スヘキ類似ノ諸問題少カラサルヘキニ付書記局ニ  
於テ是等諸問題ヲ集録ノ上一括専門委員会ノ議ニ附スルニ  
決シ此了解ヲ以テ決議原案ヲ可決セルカ原案説明ノ部ニ  
「中立國トナリタル交戦國」ノ表題ノ下ニ羅馬尼及露國ニ關  
スル法制掲ケラレ（別紙第七号十九及二十頁）本分類ハ書

要ナキ意見ナル旨長岡委員へ通達方ノ件

条機密送第六号

巴里國際常設經濟委員会第二十九回會議決議中酸化錫其他  
ノ輸出禁止ニ関シ本年三月十一日通機密公第三号貴信ヲ以  
テ御申越ノ趣了承就テハ長岡參事官へ左記帝國政府ノ意見  
参考ノ為御通達相成度右申進候也

記

酸化錫及水晶石ハ我國ヨリ輸出セラルモノ皆無ト称スル  
次第ニ非ズ又各國政府ノ見解ヲ表明セル儀ニモ可無之トハ  
思考シタルモ何人モ本分類ニ談及スルコトナク此儘ニ原案  
ヲ通過スルニ於テハ他日或ハ不測ノ故障ニ逢着セサルヲ保  
シ難キニ付本員ハ該分類中露國ヲ中立國トセルハ聯合諸國  
ノ意見ヲ表示スル次第ナリヤト試問シ意見交換ノ末（別紙  
第八号會議錄参照）前記ノ如キ表題ヲ撤シ單ニ羅馬尼及露  
西亞ト掲クルニ決シ斯ノ如ク原案ヲ修正セリ（別紙第九号）  
註 別紙省略

三五〇 七月十五日

（後藤外務大臣ヨリ  
在仏国松井大使宛）

我國ハ酸化錫水昌石及釤ノ輸出ヲ禁止スル必

一三 國際常設經濟委員会一件 三五〇 三五一

在仏特命全權大使 松井慶四郎（印）

外務大臣男爵 後藤新平殿

客月八日開催ノ國際常設經濟委員会第三十四回會議報告別  
紙ノ通り長岡委員ヨリ提出致候ニ付及転達候条御查閱相成  
度此段得貴意候 敬具

（附屬書）

國際常設經濟委員会第三十四回會議報告

一、消耗瓦斯清淨材、石英機材、汽罐材料ノ輸出禁止等

ニ関スル件

消耗瓦斯清淨材ノ輸出ヲ禁シ之ヲ戰時禁制品目中ニ加ヘ  
(別紙第一号) 石英其他酸ノ為ニ腐蝕セラレサル物質ヲ以  
テ造ラレタル機材ノ輸出ヲ禁シ（別紙第二号）金屬管及汽  
罐材料ノ輸出ヲ禁シ其隣敵中立國輸入量ヲ限定セントス  
ルノ提議（別紙第三号）委員會書記局ヨリ提出セラレ可決  
セラル（第四号第五号第六号）

二、旅商及見本ニ關スル戰後ノ制度ニ關スル件

聯合國ノ商業ヲ是等諸國ノ市場ニ留保スル為旅商ニ關シ戰  
後採用スヘキ制度ヲ講究シ聯合國ハ互ニ他聯合國旅商ニ國  
民的待遇ヲ与ヘ其原產見本ニ仮輸入ヲ許シ敵國旅商及見本  
セラル（第四号第五号第六号）

一三 國際常設經濟委員会一件 三五二

四五二

払ニ関スル短期時効ノ中断ニ関スル委員会決  
議ニ付我方ノ意見長岡委員へ通達方ノ件

条機密送第七号  
巴里國際常設經濟委員会第二十八回會議決議中、柳枝、酸化鉛、鉛丹ノ輸出禁止及利息等ノ支払ニ関スル短期時効ノ中断ニ關スル件ニ關シ本年一月三十一日通機密公第二号貴信ヲ以テ御申越ノ趣了成就テハ長岡委員へ左記帝國政府ノ意見参考ノ為御通達相成度右申進候也

柳枝ノ輸出ハ其ノ数量大ナラサルノミナラス大部分ハ米国ニ輸出セラルモノナリ鉛丹ハ大正四年ニ於テ三三四、〇九一斤六四、二八九円、大正五年ニ於テ五二六、三九五斤一二一、一七九円大正六年ニ於テ一、四三一、六六五斤四四八、四七七円ヲ輸出シニ多少ノ酸化鉛ヲ合算スルトキハ數量極額共ニ相當多額ニ上ルヘキモ我國特殊ノ地理的位置及對敵取引禁止令ニ依ル取締ハ是等物資ノ敵手ニ入ルコトヲ防止スルニ充分ナルヘキヲ以テ特ニ輸出禁止等ノ措置ヲ採ルノ要ナシ

次ニ利息等ノ支払ニ關スル短期時効ノ中断ニ關スル件中外

國ニ於テ發行シタル帝國國債ノ利子ニ付テハ時効ヲ援用セサルコトトシ内國舉行ノ証券ニシテ仏白等ニ輸出セラレタル為仕払請求ノ遲延ニ及ヒタルモノモ相当ノ書類ニ依リ其ノ事實ヲ認定シ得ル限り時効ノ援用ヲ為ササル方針ヲ以テ尚諸外國ノ振合ヲモ參酌シ便宜ノ処置ヲ採ルヘキ見込ニ有之之ヲ要スルニ右證明ナキ内債ニ關スル場合ノ外國債ノ利子ニ關シ戰爭ノ理由ニヨリ時効ヲ中断セシムルノ件ニハ何等ノ異議無シ

記

柳枝ノ輸出セラルモノナリ鉛丹ハ大正四年ニ於テ三三四、〇九一斤六四、二八九円、大正五年ニ於テ五二六、三九五斤一二一、一七九円大正六年ニ於テ一、四三一、六六五斤四四八、四七七円ヲ輸出シニ多少ノ酸化鉛ヲ合算スルトキハ數量極額共ニ相當多額ニ上ルヘキモ我國特殊ノ地理的位置及對敵取引禁止令ニ依ル取締ハ是等物資ノ敵手ニ入ルコトヲ防止スルニ充分ナルヘキヲ以テ特ニ輸出禁止等ノ措置ヲ採ルノ要ナシ

三五二 七月三十日 在仏國松井大使ヨリ  
後藤外務大臣宛

國際常設經濟委員会第三十五回會議報告送附

ノ件

通機公第二一号  
（九月二十五日接受）  
大正七年七月三十日

在仏特命全權大使 松井慶四郎（印）

外務大臣男爵 後藤新平殿

本月六日開催ノ國際常設經濟委員会第三十五回會議報告別紙ノ通長岡委員ヨリ提出致候ニ付及轉達候尚該委員会千九

百十七年度決議綱領過般印刷セラレ候ニ付十六年度ノ分ト併セテ各三部差進候条御查閱相成度此段得貴意候 敬具  
註 一九一六年及一九一七年委員会決議綱領省略

（附屬書）

國際常設經濟委員会第三十五回會議報告

一、戰時利得税ニ關スル件

戰時利得税ニ關シ課稅ノ基準ヲ課稅國ニテ收取シタル利益

ニ限局スル私國ノ法制又ハ既ニ外國ニ於テ其利得ニ対シテ支払ヒタル稅額ヲ他課稅國ニテ為スヘキ納稅額中ヨリ控除スルヲ許ス英國ノ法制等ヲ採用シ該利得ニ対シ聯合諸國ニ

於テ重複課稅セサル為右諸國間ニ協議センコトヲ勸誘セントスルノ提議委員會書記局ヨリ提出セラレタル処（別紙第一号）本件ハ各國ノ純然タル財政政策ニ關スルモノニシテ本委員會ノ關涉スヘキ問題ニ非スト思考スル旨伊國委員ヨリ注意セルモ議長ハ提案ハ單ニ各國ノ注意ヲ喚起スルニ留マルノミナラス目下斯クノ如キ勸誘ヲ為スヘキ他ノ國際機関ナキカ故ニ原案ノ通過ヲ希望スル旨ヲ述ヘ（別紙會議錄〔第二号〕参照）委員會ハ之ニ同意セリ決議文別紙第三号ノ通り

註 別紙省略

三五三 八月十二日 後藤外務大臣  
在仏國松井大使宛

一三 國際常設經濟委員会一件 三五三

四五三

## 國際常設經濟委員会ノ決議ニ関スル件

記

## 条機密送第八号

本件ニ關シ本年四月二十九日附通機公第八号貴信ヲ以テ御申越ノ趣了承、國家的利益ヲ害フヘキ敵關係契約ノ無条件解除ニ關スル法規制定ニ付テハ、我国ニ於テハ對敵取引禁止令ニ依リ此種契約ハ主務大臣ノ許可ヲ得サル限り其ノ実行ヲ停止セラレ居リ宛モ解除セラレタルト同一ノ状態ニ在リ旁々我国ニ於テハ此際更ニ委員会決議ニ於テ希望セルカ如キ法規ヲ制定スルノ必要ナシト思惟セラレ候間右ノ旨長岡参事官へ御通達相成度右申進候也

三五四

八月二十一日 (後藤外務大臣ヨリ)  
在仏國松井大使宛

三五四

八月二十一日 (後藤外務大臣ヨリ)  
在仏國松井大使宛

## セメント水化石灰及鉄格子ノ輸出禁止ニ關ス

条機密送第九号

巴里常設國際經濟委員会第二十回會議決議中「セメント」、水化石灰及鉄格子ノ輸出禁止ニ關シ本年三月十九日附通機密公第四号貴信ヲ以テ御申越ノ趣了承就テハ長岡参考官へ左記帝国政府ノ意見参考ノ為御通達相成度右申進候

ル決議ニ付我方ノ意見長岡委員へ通達方ノ件

## 事項一四 列国ノ和平工作一件

三五六 二月十四日

(在伊國伊集院大使ヨリ)  
本野外務大臣宛(電報)

米國大統領教書發表後羅馬法王ト協議セル枢  
機卿ガスパリーガ世界大戰終結ノ条件ニ付情  
報者ニ為シタル内話報告ノ件

第三二号

米國大統領最近ノ教書發表後法王ハ「ガスパリー」ト長時間密議ヲ凝ラシタル由ニテ情報者カ後者ヲ訪問シタル処右会談ノ結果ハ大体ニ於テ良好ナリシト語リ更ニ大要左ノ通内話セル由

右教書ノ内容ハ「ブルベル」ニ一步ヲ進メタル觀アリ此上ハ一先ツ戦争ヲ中止セシメ無益ノ殺戮ヲ避ケシムル方法ヲ講シ得ル希望ヲ有ス一旦戦争ヲ中止シ得ハ平和談判ニ近ツキ得ヘシ交戦國相互ノ争点ハ今ヤ益々其範囲狭クナレリ東方問題ニ關シ「リストニア」、「キュールランド」、「リボニヤ」及芬蘭ハ自治國ヲ形成シ波蘭モ亦將ニ統一セ

「セメント」、水化石灰及鉄格子ハ主トシテ支那英領印度蘭領印度等東洋又ハ南洋方面ノ聯合國若ハ其ノ殖民地又ハ中立國ヘ輸出セラレ敵國ハ勿論隣敵中立國其ノ他敵國ニ輸出セラルル虞アル國ヘノ輸出ハ皆無ニシテ殊ニ我国ニ於テハ對敵取引禁止令ニ依リ敵性者トノ取引ハ嚴ニ取締ヲ為セルヲ以テ此際是等物資ニ付輸出禁止其ノ他ノ措置ヲ採ルノ必要ナシト認ム

三五五 八月二十八日

(後藤外務大臣ヨリ)  
在仏國松井大使宛

## 同種類物件別ニ依ル戰時禁制品目表作成ニ關

## シ長岡委員へ通達方ノ件

機密条送第一〇号

本年四月二十九日通機公第八号貴信ヲ以テ御申越ニ係ル巴里國際常設經濟委員会第三二回會議決議中同種類物件別ニ依ル戰時禁制品目表作成ニ關スル件ニ關シテハ帝国政府ハ何等ノ異議無之旨長岡委員へ御通達相煩度右申進候也